

1月30日

佐伯区役所別館が オープンしました。

区民の皆さんに保健・医療・福祉分野のサービスを総合的に提供できる体制を整えるため、佐伯福祉事務所、佐伯保健センターと新たに地域福祉活動の拠点となる佐伯区地域福祉センターの3つの施設が一体的に整備され、佐伯区社会福祉協議会が別館へ移転しました。

佐伯区役所別館



ボランティア研修室



ボランティアセンター



詳しくは2ページへ

広島市佐伯区地域福祉センターが オープンしました!

広島市8区のなかで最後のオープンです。福祉を目的とする交流及び活動の場による、地域における市民の自主的な福祉活動を支援し、地域福祉の増進を図るため、設置しているものです。どうかお気軽に御利用ください。

- 休館日 毎月第3日曜日、8月6日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
- 開館時間 9:00から21:00

■予約施設及び使用料

5階 小会議室(収容人数30人程度)、ボランティア研修室(収容人数30人程度)

6階 大会議室(収容人数最大120人程度)

※施設の設置目的内の使用は原則として無料ですが、目的外に使用する場合には、別途使用料をいただきます。

■施設情報

付帯施設(上記の施設のほか)

佐伯区社会福祉協議会事務局、ボランティアセンター、点字印刷室、朗読録音室
録音作業室、印刷作業室、相談室、共同作業室

申込方法 地域福祉センター事業目的の範囲内で使用する場合は使用日3ヶ月前から、
その他の場合は使用日の1ヶ月前から、所定の使用申請書を提出

申込受付 使用申請受付時間は休館日を除く9時から17時まで

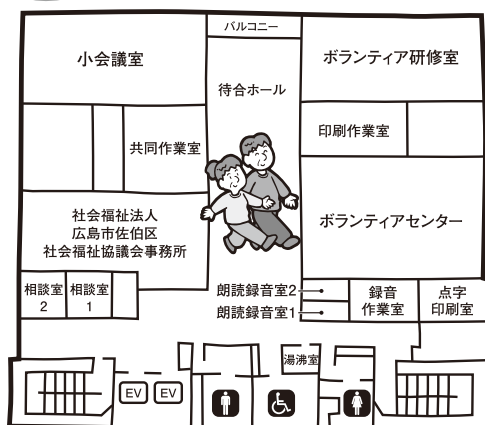
交通機関 (JR)山陽本線 五日市駅下車徒歩10分
(広電電車)宮島線 佐伯区役所前下車徒歩1分
(広電バス)佐伯区役所前下車徒歩1分

駐車場 37台

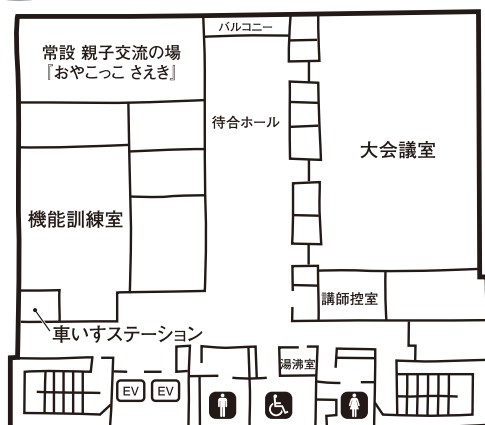


お問い合わせ 広島市佐伯区地域福祉センター TEL082-921-3113

5F



6F



特定非営利活動法人「むぎの家」

理事長 太田 誠

私たち「むぎの家」は、「どんなに障がいがあっても住みなれた地域の中で友達を作り、働き、生きがいを持って暮らしたい」という当事者・ご家族の思いから、昭和57年に当時の五日市町中地に小さな作業所として誕生しました。当時はあまり福祉も充実しておらず、全国的にも作業所というものが少なかったため、手探り状態で、ご家族自らが現場を支えていました。それから少しずつ制度も出来、決して十分とはいえませんが見通しの持てる活動ができるようになっていきました。平成6年には石内バイパスの整備に伴い、現在の佐伯区利松に移転し、平成20年にNPO法人となりました。

現在は17名の利用者と6名の職員で建築用金具の組立や牡蠣の殻通し、安全ピンの結束やダスキンの使用済みマット・モップの仕分け作業、さをり織りやビーズアクセサリー等の自主製品製作・販売、アルミ缶や古紙の回収などを行っております。アルミ缶や古紙は佐伯区内のスーパーなどへ定期的に回収に伺っていますが、ご連絡を頂きましたら各ご家庭へも回収に伺いますのでお気軽にご連絡ください。また自主製品は佐伯区のミヤカグさんでも販売しておりますので良かったら足を運んでみて下さい。

これまで開所以来30年の間には、後援会をはじめたくさんの方が私たちに気にかけてくださり、支えて下さいました。そんな皆様への感謝の気持ちを込めて、毎年4月の第3土曜日に「ふれあいの日」と題してイベントを開催しております。今年は4月21日の開催となりますが、コンサートや食事などをご用意してお待ちしておりますので、どうぞ遊びに来て下さい!

むぎの家ホームページ <http://www1.megaegg.ne.jp/~muginioie/>



後援会員募集中

私たちの活動を支えて下さる方を募集しています

年会費 〔個人1口〕1,000円 〔団体1口〕3,000円

むぎの家 佐伯区利松2丁目3-8
☎082-928-1672 までご連絡ください。

～地域。誇り、愛着、そして絆!～

佐伯区社会福祉協議会・佐伯区役所・五日市商工会

『平清盛と佐伯景弘』



佐伯区イメージキャラクター
さえき景弘くん

佐伯景弘(さえきかげひろ)とは?

社協キーワード1 顔の見える 信頼のあるつながり

平安時代の終わりごろ、私たちの住む佐伯区は、安芸国の西側の、佐伯郡(さえきごおり)と呼ばれた地域にありました。この地域を治めていたのが、佐伯一族です。その当時の郡役所は、現在の佐伯区の八幡地区にあったと言われています。平清盛が安芸守(あきのかみ)となり、厳島神社への信仰を深めたころ、神主であったのが、佐伯景弘でありました。清盛と親交を深めた景弘は、莊園を寄附して清盛の財政を支えることで、清盛の出世を助け、やがては厳島神社の復興を実現して、現在のような壮大な厳島神社を築き上げたのです。

佐伯景弘で絆を深めよう!

社協キーワード2 日頃からの取り組みを大切に

家庭や地域でのコミュニケーション・人間関係の希薄化が社会問題となっている今、その解決のキーワードが「佐伯景弘」にある!!と断言したら言い過ぎでしょうか?佐伯区に住む我々が、歴史に残る大人物「佐伯景弘」や区内にある源平合戦に関わる史跡を知ることにより、自分たちが住む地域に「誇りと愛着」が生まれます。「佐伯景弘」を通して、家庭では会話が生まれ、地域では今まで知らなかった人たちが繋がっていく…それが「絆」になります。「絆」が深まれば、犯罪や非行、いじめ、虐待、暴力、孤独死など、家庭や地域の様々な問題が解決し、誰もが幸せに暮らしていけるまちづくりができます。そのキーワードが「佐伯景弘」なのです!! 佐伯区社協も応援しています。

弁護士無料相談のお知らせ

申込
4月16日(月)から受付

日常生活の中で、困りごとがあれば、どうぞご利用ください。(要予約)

日 時 5月16日(水) 13:00～16:00

相談時間 1人30分(定員6名)

TEL (082) 921-3113

場 所 佐伯区役所別館 5階

申 込 先 佐伯区社会福祉協議会

FAX (082) 924-2349

相談窓口をご利用ください

日々の生活の中で不安に感じていること、困っていることはありませんか。
相談員がお話しをおうかがいしています。(秘密厳守・相談は無料です。)

心配ごと相談

【相談日】毎週月～金曜日(休日を除く)
9:00～17:00

【場 所】佐伯区社会福祉協議会
(佐伯区海老園1-4-5
佐伯区役所別館 5階)

【電 話】(082) 921-3113

湯来困りごと相談

【相談日】毎週月曜日 13:00～16:00
毎月第2・4金曜日 13:00～16:00

【場 所】湯来福祉会館
(佐伯区湯来町大字和田333)

【電 話】(0829) 83-0877

お気軽に
ご相談ください

福祉サービス利用援助事業

『かけはし』ってなに?

- 福祉サービスを利用したいが、手続きがよくわからない
- 家賃や公共料金の支払いが自分では難しい
- 通帳や印鑑をどこに置いたかわからなくなることがある
など、毎日の生活の中で不安になることはありませんか。

その不安解消のため、お手伝いをしているのが、この『かけはし』です。『かけはし』は、認知症や障がいなどのために判断能力に不安のある方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、月1回程度、見守りを含め、日常的な金銭管理や郵便物の確認等のお手伝いをしています。

お手伝いの内容

- ①福祉サービスを利用される時のお手伝い
- ②日常的な金銭管理のお手伝い
- ③通帳などのお預かりサービス
- ④郵便物の確認 など

利用料

- ①日常的な金銭管理サービス
訪問1回につき 1,500円
- ②通帳などのお預かりサービス
1ヶ月 1,500円

みなさんの周りで困っている方はいらっしゃいませんか? お気軽にご相談ください。(相談は無料・サービスは有料です。)

お問い合わせ 佐伯区社会福祉協議会 ☎(082) 921-3113



平成24年度 賛助会員募集



広島市佐伯区社会福祉協議会では、「あなたとつくる みんなでつくる ささえあいのまち」をスローガンに、地域でのささえあいの仕組みをつくる推進役・支援役として、また、地域の皆さんや諸機関・団体と手を携えて、そこに住む一人ひとりが主役となった「ささえあいのまちづくり」を進めています。

こうした本会の活動に賛同いただき、個人・団体・企業等のみなさまに「賛助会員」として本会をご支援くださいますようお願いいたします。

個人

1口 1,000円

団体・企業

1口 5,000円

何口でも加入いただけます。

ありがとうございました (平成23年9月1日～平成24年3月7日)

〈企業(団体)〉 手をつなぐ育成会 湯来保養園 公衆衛生推進協議会 身体障害者福祉協会 認知症の人と家族の会
母子・寡婦福祉会 佐伯区民生委員児童委員協議会 佐伯区女性団体連合会 広島愛育会
重度心身障害児施設鈴が峰 NPO法人中央・幸工房 五日市乳児保育園

〈個人〉 出崎 尚登様 中本 忍様 橋本 哲夫様 日高 義幸様 難波 和子様 宮崎 義範様 平岡 勇様
上野 勇様 竹林 眞治様 奥田 貞子様 岩田 雅之様 荒井 博幸様 古池 里司様 石本 誠次郎様
今井 千代次様 匿名3名 (敬称略・順不同)

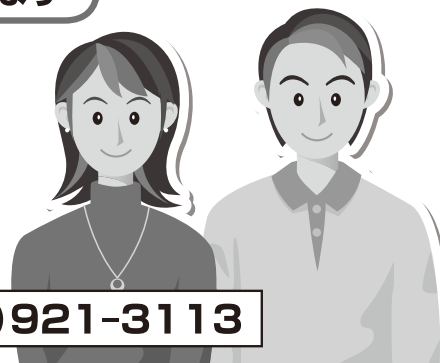


賛助会員は、こんなことに活動させていただきます

ふれあいいきいきサロン(地域住民のふれあいの場)

ふれあい配食活動(まごころ弁当)

障がいのある子供たちの地域参加や
仲間づくりの活動等



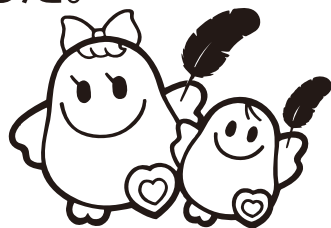
申込・受付:広島市佐伯区社会福祉協議会 TEL(082)921-3113

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

“じぶんの町を良くするしくみ”を全国統一スローガンに実施されました、
「赤い羽根共同募金」(運動期間:平成23年10月1日～12月31日)。

広島市共同募金会佐伯区分会におきましては、「たすけあいの心」のもと
13,767,517円(平成24年2月24日現在)の募金を頂きました。

皆様のあたたかいご理解とご協力に感謝申し上げます。



愛の灯

温かいご寄附、ありがとうございました。

お寄せいただいたご寄附は、佐伯区の社会福祉事業のために
大切に使用させていただきます。

平成23年10月1日～平成24年3月12日(受付順)

●一般寄附

広島県指導者協会
広島西支部総会 様
五日市母親クラブ 様
ひろやま ひろこ 廣山 博子 様(五日市中央)
「夢ラリー」実行委員会 様
みすみ おとめ 三住 乙女 様(五日市駅前)
匿名 名(坪井)

●香典返礼の一部として

匿名 名(新宮苑)
すぎせ としまさ 杉瀬 年正 様(利松)
かじやま たけひと 梶山 武人 様(石内南)

●物品寄附

まつだ みか 松田 美香 様(西区)
乾電池(単3/15パック 単4/6パック)
きのした ひであき 木下 英明 様(美の里) 車いす1台
やまもと ふみお 山本 文雄 様(美の里) 車いす1台

第16回 このひとインタビュー!!

今回は、佐伯区美の里在住の広島工業大学4年生の
松岡和貴さんにお話をお伺いしました。



広島工業大学 4年生 松岡和貴さん

Q1 ボランティアを始めるきっかけは何でしたか…

「ぶちボラ体験スクール」のちらしを母が紹介してくれ、参加したことからです。

◆「ぶちボラ体験スクール」は、佐伯区社会福祉協議会が毎年夏休みに高校生から概ね25歳までを対象に開催しているヤングボランティアスクールです。

Q2 今、どんな活動をしていますか…

主に知的障がい児と「ミニテニス」などを通してのふれあい、個人ニーズとして区内の特別支援学級児童の学習補助、不登校生への支援などです。

Q3 ボランティア活動を通して感じたことや気づきがありましたか…

僕は、ある意味競争社会で生きてきました。ボランティア活動でゆるやかでやさしい社会を経験し、その中でいろいろな人との出会いがありました。

学校ではなかなか体験できないことだと思います。

Q4 これから力を入れて取り組みたいことはなんですか…

活動の中で、僕らを喜んで迎えてくれる人がいるというのは嬉しいことですし、活動においても励みになります。僕は4人きょうだいの末っ子なので、子ども達とのふれあいはあまり自信がなかったのですが、活動する中で自然と積極的に向き合えるようになりました。「楽しさ」も続けられた大きな一因です。どうしようかと考えるより、参加してみてください。

Q5 これからの抱負を一言でどうぞ…

4月から社会人となりますが、今まで通り気負わずボランティア活動が続けていけたらと考えています。

不登校などで家で過ごしている人のための マンガ・イラスト教室

★不登校などで家にこもりがちな人たちを対象に、マンガ・イラスト教室がはじまります。

親子参加
大歓迎!



マンガを描くのが
好きな人…

イラストを描くのが
好きな人…

もっと上手に
なりたい人…

まずは「体験」からどうぞ!!!

開催日 毎月 第2・第4月曜日
★4月9日(月)・23日(月)です
9:30~12:30

場 所 佐伯区地域福祉センター
(広島市佐伯区海老園1-4-5)

対 象 小学生~青年まで

費 用 実費
(講師は、佐伯区イメージキャラクター
「さえき景弘くん」の作成者 甲斐さゆみさん)

主 催:不登校を考える会・広島
お申込み・お問い合わせ:眞田(☎090-3376-3391)

不登校を考える会・広島では

15歳くらいから不登校やひきこもりがちな子供をもつ『親の会』も開催しています。
参加してみたい方は、当日会場にお越しください。『親の会』は毎月活動をしています。

開催場所:佐伯区役所別館(佐伯区地域福祉センター) お問い合わせは、眞田まで(☎090-3376-3391)